

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1292400114		
法人名	株式会社ヘルシーサービス		
事業所名	小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台		
所在地	千葉県市原市ちはら台東9-11-4		
自己評価作成日	平成28年1月9日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成28年2月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様一人ひとりに対して必要な部分を穴埋め出来るような柔軟なサービス提供をする事で住み慣れた自宅での生活をサポートします。今まで築かれてきた地域との繋がりを大切に、サービス提供することで地域と切り離してしまうのではなく、繋げる支援をさせていただきます。また介護保険のサービスを提供することだけが私たちの役割ではありません。今後早い速度で高齢化が進むちはら台は勿論、道路を挟んですぐの緑区大膳野町は高齢率が高く、地域包括ケアシステムの構築のために私たちが出来る事として介護予防教室を毎月開催し、地域の高齢者や障がい者に対して介護状態にならない為の働きかけを行うこと。地域の小さなコミュニティーとなりどなたでも気軽に立ち寄っていただける環境を整えていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

通い、訪問、泊まりのサービスを利用者の状態や要望に応じて組み合わせ、急なサービス変更に関しても柔軟に対応し、利用者、家族の安心感に繋げている。今年度は、地域の住民を対象とした「ガーデン体操」を独自に実施する等、地域に貢献する活動を通じて知名度も向上し、利用者の登録数も増加している。利用者への支援に関しても外出支援に力を入れ、県内外の観光名所にも積極的に出かけている。また、職員が中心となり結成している「ちはら台バンド」も継続し、ホーム内行事や地域の懇親会で演奏する等、職員の特技を活かした取り組みも継続し、モチベーションの向上にもつながっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	通いを中心として訪問・泊まりのサービスを通じ、お客様の自立支援のお手伝いをさせていただいております。	会社の社是、経営理念、心得の掲示のほか、「笑顔で元気」をホームのスローガンに掲げている。会社の経営理念については毎月の拠点会議の中で唱和することとし、職員の理解が深まるように努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域自治会が主催するイベントなどに積極的に参加する他、ガーデンコート主催の納涼祭では地域のボランティアグループを招いて屋外で行なう。近隣の方々も声を掛け、参加して頂きました。	防犯パトロール等の地域行事への参加や地域のお祭りにも利用者と一緒に参加をし交流を深めている。また、事業所主催の納涼祭に地域の方を招き交流する等、地域とは良好な関係が構築できている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症サポーター研修をコミュニティーセンターやホテルで地域の方々や婦人会の方々に向けて実施している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	質疑応答の形式で質問させていただき、アドバイスを頂いております。	会議には地域包括支援センター、民生委員、家族の方の参加を受け2ヶ月に一度定期的を実施している。運営状況や行事報告のほか、参加者から地域情報を収集することができ、その情報を活かし地域交流の充実に繋げている。	運営推進会議を定期的で開催し、多くの情報を収集することができているが、今後に向けては、地域住民の方の参加も得られる事に期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に訪問し、空き状況や現状報告させていただき他、情報交換を行っています。ご担当者様に運営推進会議へご参加頂いています。	行政に判断を仰ぐ必要性が生じた際には、市の担当課に連絡を入れ助言を頂く事ができている。運営上の疑問点なども相談に応じて頂く事ができおり、協力関係が築けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面の考慮から、玄関及び階段の施錠を行っています。(エレベーターで上下階を行き来する事は可能、玄関を開ける際は職員への声掛けをお願いしております)	事業所内の研修において「身体拘束、虐待について」を実施し、適切な対応方法を職員に周知している。現状事業所内において身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	実際にあった事例などを用いて提示する他、研修を通じて意識付けを行っています。		

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や連絡ファイルを通じ、情報の共有に務めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	不明点を残さない様、途中途中にご質問を伺いながら進めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	送迎時や訪問時、運営推進会議の際など常にご意見を伺えるよう心がけています。	家族からの意見や要望については通いサービスの送迎時やケアマネジャーによるモニタリングの際に個別に確認している。また会社からお客様アンケートを実施し、運営上の要望等を収集している。利用者からの意見や要望は日常会話から収集している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設を作るのは事務所だけでなく、お客様、スタッフを含めた全員であると考え、意見を常に集めつつ拠点会議の際に全体で話し合い、検討を行っています。	3ヶ月に一度管理者と職員間において個別面談を実施し、職員からの意見や要望を収集している。また毎月の拠点会議のほか各ユニットにノートを設置し日頃から職員が意見を表出できる機会を設けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者がまとめた職員個々の情報を総括し、環境改善をおこなっています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内の研修の他、外部研修の紹介を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市原市内の他事業所と交流を持ち、協議会の立ち上げを協力しておこなう。お互いの情報交換や運営推進会議等のお誘いやイベント等を共同で行う取り組みをしている。		

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを十分に取り、本人のニーズを引き出せる様心がけております。職員間で情報の共有を行っています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご利用開始前に要望や背景の把握に努め、ご利用開始してからも状況の変化など、まめな報告を心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	前任CMやMSWから情報提供を求め、現在の本人、ご家族の状況を正確にアセスメントし望む暮らしに近づけるようなサービスを心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護が必要なタイミングを見極め、必要に応じて介助、声掛けを行っています。家事等の日常生活を職員が行うのではなく、お客様と共に行うことで信頼関係を築いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	普段から連絡をこまめに取り、本人の状況をお互いに提供しあえる関係作りを行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで本人が関わりを持っていた方や店等、出来る限り繋がりを継続できるようスタッフと共に出向いたり、民生委員と連携をとるよう心がけております。	事業所に登録している利用者に対して、出来る限りこれまでの関係が継続できるような支援に努め、特に、独居で生活する方については民生委員や近所の方の協力が得られるように声をかけ、在宅生活が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様同士が交流できる様な場を設け、共同作業などを通じ、より良い関係が築けるよう働きかけています。孤立してしまう方へは個別ケアを通じ、少しずつ他の方と距離を詰められるよう努めております。		

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご利用が終了した後も気軽にご連絡頂ける様お声掛けし、その後のご様子などをお伺いしたりできる様しております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用される前の状況を可能な限りリサーチし、本人の意向に添える様努めています。また生活して行く上で意向は変わる為、本人の言葉を常に傾聴し望む暮らしに近づけるよう心がけております。	日頃の会話や表情から一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、また家族等の協力を仰ぎその把握に努めている。困難な場合は、家族に相談の上、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族関係者から今までの生活歴を伺い、従来の生活から可能な限りズレが無いよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の把握、日頃の変化に注意を払い職員同士や家族も踏まえた情報交換ができる様にしております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的に見直しをしている他、変化があった場合は都度見直しを検討し、より良い生活を送っていただける様心がけております。	アセスメントにおいて利用者の現状及び課題を抽出し、アセスメントで得た情報を基に担当者会議において利用者、職員から意見を収集し、総合的な意見を踏まえてケアプランを立案している。ケアプランの状況は毎月モニタリングを行い、目標の達成度を確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態を記録しております重要事項は申し送りや連絡ノート、会議などを通じて全職員が把握できる様努めております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	買い物や地域行事に参加している他、地域ボランティアが行っているスポーツクラブなどへの参加も事業所で取り組んでおります。		

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事や防犯パトロールなどへ積極的に参加し、地域住民と繋がりを持てる様努めております。またお客様の地域の民生員と連携を取るよう心がけております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族とも連絡を取り合い、必要に応じ訪問・通院の介助をおこなっております。	利用者の主治医との連携を図るために、医療機関に受診する際には必要に応じてケアマネジャーが同行し、主治医と連携を図るほか、必要時において適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要に応じ協力医療機関看護師や、施設看護師へ連絡を取っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際、必要事項は入院先の担当医、看護師へ詳細な情報提供を行っています。退院の際には今後の治療や注意事項について漏れがないようヒアリングを行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設としてできる事、出来ないことを明確に説明し、ご本人とご家族が納得された上で主治医を交えてケアの方向性をきめております。	重度化や終末期の方針に関しては、契約時において方針を説明し、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有している。重度化が見られる場合は、家族や主治医と再度話し合いを行い、今後の方針を検討していくこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署主催の救命講習を繰り返し受講し、急変時に慌てることなく対応出来るよう努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防士立会いでの防災訓練の他、施設内研修として様々な想定で避難訓練を行っております。	避難訓練については、消火や通報、夜間を想定した訓練を消防署と連携し年2回実施している。災害に備え、懐中電灯やカセットコンロを揃えている。また水害の状況においてもハザードマップで確認を取っている。	今後に向けては、災害時に備え備蓄品の確保や災害発生後、家族に対して利用者の安否をどのように伝えていくか連絡方法についてより明確になる事が望まれる。

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの生活暦を把握した上で、敬う気持ちを持って対応しております。	事業所内において「接遇マナーとプライバシー保護」についての研修を実施し、適切な対応が図れるように取り組んでいる。居室への出入りについても一声かける、ノックをしてからの入室を基本としている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	やりたい事や行きたい場所をお客様と一緒に考え、自己決定できる様な関わり方を心がけております。また、自己表現が難しいお客様に対しても選択肢を用意する等自己選択しやすい工夫をしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のリズムに合わせて入浴の時間や食事の時間を変更して対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人・ご家族に確認を取り、希望者に対して訪問理美容で整髪を行っております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お客様と職員が同じテーブルを囲んで食事を食べております。準備や洗い物等も出来るだけ一緒に行って頂ける様声掛けをおこなっております。お客様によってはスープ作り等を短期目標に掲げスタッフと一緒に調理を行っております。	食事の準備や後片付けでは、利用者にもできる限り参加をして頂き職員と一緒に進める事ができるように支援している。食事を楽しむ工夫では、季節に合わせて食事メニューの工夫や外食などを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れた食事を提供させていただいてます。水分量はある程度のボーダーラインを決め、その量を下回らないよう声掛けを行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で行える方には声掛け、介助が必要な方には必要な介助を行い清潔を維持しております。		

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	過去の記録をさかのぼっておおよその排泄パターン把握し、適切なタイミングのトイレ誘導を心がけております。	利用者一人ひとりの排泄状況に関しては、個人日誌に水分摂取量や排泄に関する記録を残し、利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量と運動不足に留意しつつ、おおよその排泄間隔を把握する事に努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	その日の体調に注意しながら、一人ひとり通所で来られる時間も違う為その人にあつた時間で入浴して頂ける体制をとっております。	利用者の体調やタイミングを考慮し、通いサービス時に入浴できるように支援している。入浴中は職員が介助につき、転倒等が生じないように安全面には十分に配慮している。また、温泉施設への外出も取り入れ入浴の楽しみに繋げている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝、夜間の就寝も含めてご本人のペースで休める様務めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご家族、主治医との話し合いの上で症状や内服薬の把握に努めております。変更についても都度ご連絡を頂いた上で周知しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や特技を活かし、職員がアイデアを出し合い、気分転換できるサービスを考えております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩に出かけることが日課となっております。遠足として中華街や温泉、イルミネーション見物と外出に力を入れておりお客様、ご家族共に満足いただいております。	天気の良い日は周辺の散歩や買い物に出かけている。また外出行事として初詣、花見、運動会、七夕祭り、外食等への外出や車を借りて県内外の観光名所などへも外出している。利用者の希望も確認し、様々な地域に出かけられるように取り組んでいる。	

小規模多機能ステーションガーデンコートちはら台

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理の可能なお客様はご自分でお財布を管理して頂いております。買物の際にはご自分でお会計をしていただいたり、見守りが必要な方には声掛け等を行い、ご自分で現金を出すことが出来るよう支援させていただきます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	夜間を除いてご本人の希望時には施設の電話を使っていただけるようにしております。またお客様の中には携帯電話を持たれている方もおり、必要時には使用して頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や共有フロアに季節に合わせた装飾をし、季節が目で見えるよう工夫しております。	共用の空間は、ご利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、行事や季節に合わせて装飾を工夫し、生活感や季節感を採り入れ居心地良く過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気に入ったお客様同士で共用フロアで雑談をしたり、ソファなどで一人の時間を過ごされております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人と相談の上家具の配置を決定しております。	宿泊の際には、ご自宅で使い慣れたものを持ち込めるように配慮し、居心地良く過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様の出来ること、わかることを職員が把握し、自立した生活が送れるようにベッドの配置やテーブルの位置を検討し安全に過ごせるよう心がけております。		